

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年10月期 3 Q	4, 512, 600株	2025年10月期	4, 000, 000株
② 期末自己株式数	2026年10月期 3 Q	一株	2025年10月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年10月期 3 Q	4, 454, 796株	2025年10月期 3 Q	4, 000, 000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetにて2026年9月11日に同日開示し、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、春闘での高水準の賃上げを背景とした所得環境の改善や、企業の底堅い設備投資などにより、緩やかな回復基調が続きました。株式市場においても、企業の資本効率改善への継続的な取り組みなどを背景に、投資環境は概ね堅調に推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に端を発した「2026年ナフサショック」による原油および各種原材料価格の高騰や、急激な為替変動など、実体経済の先行きには依然として不透明感が漂っております。

国内建設業界におきましては、改正建設業法の施行に伴う働き方改革や適正取引の推進など、業界全体のアップデートが進んでおります。同時に、資材価格の変動やサプライチェーンの再構築、継続的な人手不足への対応など、事業環境の変化に対する柔軟な経営判断が求められております。

こうした経営環境のもと、地域の中小建設業者におきましては、原価管理の徹底や生産性の向上が持続的成長のための急務となっております。その有効な解決策として、建設現場のデジタルトランスフォーメーション（DX）への関心は急速に高まっており、力強い投資ニーズが顕在化しております。

このような情勢のもと、当社は「テクノロジーで建設業界をアップデートする。」をビジョンに掲げ、建設DXプラットフォーム事業を展開しております。建設企業、施主、求職者、建材提供者等、多様なステークホルダーをつなぐマッチングメディア「CAREECON」の運営および、建設業向け統合型ビジネスツール「CAREECON Plus」の提供を通じて、業界の課題解決に注力してまいりました。

当第3四半期累計期間におきましては、これまでに実施した支店規模の拡大および営業体制の強化が奏功し、新規顧客の獲得が順調に進捗いたしました。また、激しい外部環境の変化を背景に、既存顧客においてDXによる原価把握や業務効率化の重要性が再認識された結果、「CAREECON Plus」のクロスセルおよびアップセルが好調に推移し、ストック型の収益基盤が一段と強固なものとなりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間については、売上高は2,078,063千円（前年同期比39.8%増）、営業利益は308,739千円（前年同期比60.0%増）、経常利益は290,703千円（前年同期比52.9%増）、四半期純利益は189,707千円（前年同期比41.0%増）となりました。

なお、当社は建設DXプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は1,841,290千円となり、前事業年度末に比べ622,121千円増加いたしました。主な要因は、株式上場に伴う新株発行の払込等により現金及び預金が548,068千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債は785,261千円となり、前事業年度末に比べ19,867千円減少いたしました。主な要因は、未払金が36,824千円増加した一方で、長期借入金が59,988千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は1,056,028千円となり、前事業年度末に比べ641,988千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が189,707千円増加したこと、株式上場に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ225,400千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績を勘案し、2025年12月12日に公表した数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2026年10月期通期業績予想の修正（上方修正）」に関するお知らせをご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	786,171	1,334,239
売掛金	198,612	270,469
仕掛品	4,180	9,006
前払費用	56,932	37,320
その他	3,031	5,105
貸倒引当金	△6,734	△14,472
流動資産合計	1,042,193	1,641,667
固定資産		
有形固定資産	62,233	81,153
無形固定資産	4,562	3,866
投資その他の資産	110,180	114,602
固定資産合計	176,975	199,622
資産合計	1,219,169	1,841,290
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,857	34,560
1年内返済予定の長期借入金	78,048	88,872
未払金	81,195	118,020
未払費用	64,126	77,645
未払法人税等	84,764	50,234
未払消費税等	47,973	37,596
契約負債	19,916	23,504
預り金	19,328	28,897
流動負債合計	419,211	459,330
固定負債		
長期借入金	375,971	315,982
退職給付引当金	3,750	3,750
資産除去債務	6,196	6,198
固定負債合計	385,917	325,931
負債合計	805,128	785,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,030	296,593
資本剰余金	-	225,563
利益剰余金	343,010	532,717
株主資本合計	414,040	1,054,875
新株予約権	-	1,153
純資産合計	414,040	1,056,028
負債純資産合計	1,219,169	1,841,290

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2024年11月 1 日 至 2025年 7 月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2025年11月 1 日 至 2026年 7 月31日)
売上高	1,486,048	2,078,063
売上原価	285,321	371,156
売上総利益	1,200,726	1,706,907
販売費及び一般管理費	1,007,765	1,398,167
営業利益	192,960	308,739
営業外収益		
受取利息	343	1,983
その他	287	239
営業外収益合計	630	2,222
営業外費用		
支払利息	2,733	2,506
上場関連費用	-	17,752
その他	694	-
営業外費用合計	3,428	20,258
経常利益	190,163	290,703
税引前四半期純利益	190,163	290,703
法人税等	55,615	100,996
四半期純利益	134,547	189,707

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月1日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年11月28日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式500,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ225,400千円増加しております。

その他当第3四半期累計期間における新株予約権の行使も含めた結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が296,593千円、資本剰余金が225,563千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は建設DXプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間にかかる四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間にかかる減価償却費は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	5,974千円	15,303千円